

事例番号:280113

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第二部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 3 日 性器出血を主訴に来院、血圧 150-160/100mmHg 台、妊娠高血圧の診断で入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 39 週 4 日

2:00 陣痛開始

4:38 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 4 日

(2) 出生時体重:2900g 台

(3) 臍帯静脈血ガス分析値:pH 7.38、BE 1.4mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 10 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 5 日 退院

生後 4 ヶ月 頸のすわりが悪い、全体的にロビ°-な印象あり

生後 6 ヶ月 身長・体重の成長曲線は正常であるが、定頸認めず、全体的にロビ°-な印象

生後 9 ヶ月 頸のすわり、寝返り、座位みられず

(7) 頭部画像所見:

生後 7 ヶ月 頭部 MRI にて髄鞘化の遅れあるが、皮質形成異常や異常信号は認められない

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 診療区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 1 名

看護スタッフ: 助産師 2 名、看護師 1 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に關与する異常は認められず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

分娩経過中の管理は一般的である。

3) 新生児経過

出生時およびその後の新生児管理(検査、処置)は一般的である。

**4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項**

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

原因不明の脳性麻痺の事例の集積を行い、その病態についての研究を推進

することが望まれる。

**(2) 国・地方自治体に対して**

原因不明の脳性麻痺事例の発症機序解明に関する研究の促進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。